

平成 30 年北海道胆振東部地震における札幌市の対応について

1 被害概況

(1) 人的被害の状況（平成 31 年 1 月 31 日現在）

死者 2 名（うち災害関連死 1 名）、負傷者 297 名（重傷 1 名、軽傷 296 名）

※災害との関連性を精査した速報値です

(2) 物的被害の状況（平成 31 年 1 月 30 日現在）

住家棟数	全壊 95、半壊 691、一部損壊 4,511
非住家棟数	全壊 7、半壊 24、一部損壊 194

2 動物管理センターの対応

(1) 特定動物飼養者への対応

9 月 6 日	円山動物園、ノースサファリサッポロ、旧定山溪熊牧場の状況確認。 逸走なし。
9 月 7 日	上記 3 施設以外（個人飼養など）の状況確認。逸走なし。

(2) ペット飼養者への対応

ア 同行避難の状況

- ・清田区からの要望を受け、動物収容用のテント、ケージ等を清田区に貸し出し（⇒体育館敷地内に設置）
- ・東区体育館、清田区体育館などで、ペット同行避難者用の室内スペースを確保（各避難所の判断による）

イ 市民相談対応

- ・市営住宅等への入居希望、ペットの一時預かりを希望する被災者の相談対応

ウ ペット同行避難者への配慮要請文書発出

- ・避難所に同行避難した動物に関する配慮要請（環境省動物愛護管理室）を受け、関係部局に依頼文書を発出

(3) 広域連携

北海道胆振東部地震ペット対策協議会への参加

（北海道獣医師会・札幌市小動物獣医師会、日本愛玩動物協会、北海道庁ほか）

札幌市外の被災ペット対応 … 獣医師会、愛玩動物協会、北海道ほか

札幌市内の被災ペット対応 … 札幌市

(4) 災害時動物救護ボランティア関係

災害時動物救護ボランティアによる被災者ペットの一時預かり（1 件）

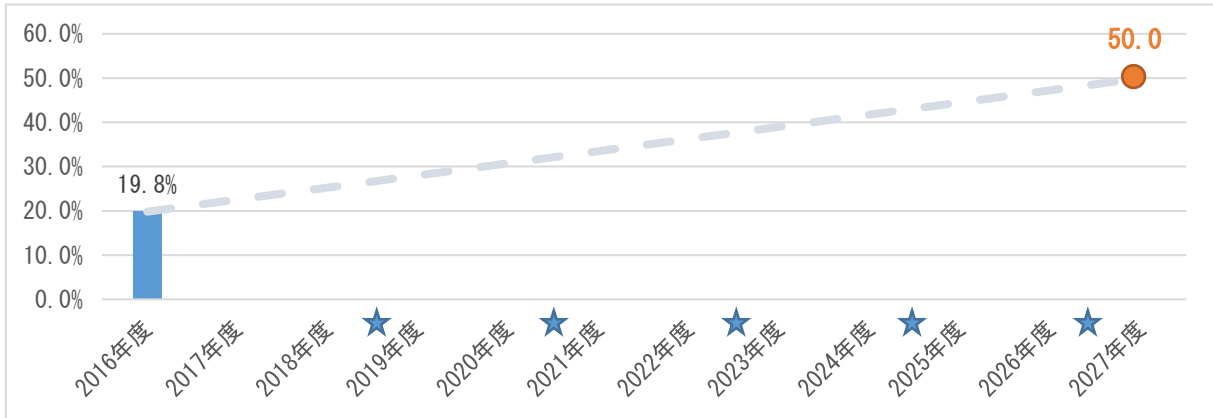
札幌市動物愛護管理推進計画の進捗状況

1 数値目標

2018 年度の数値については、2019. 1. 31 時点での速報値となります。

(1) 動物愛護精神の普及啓発に関する数値目標

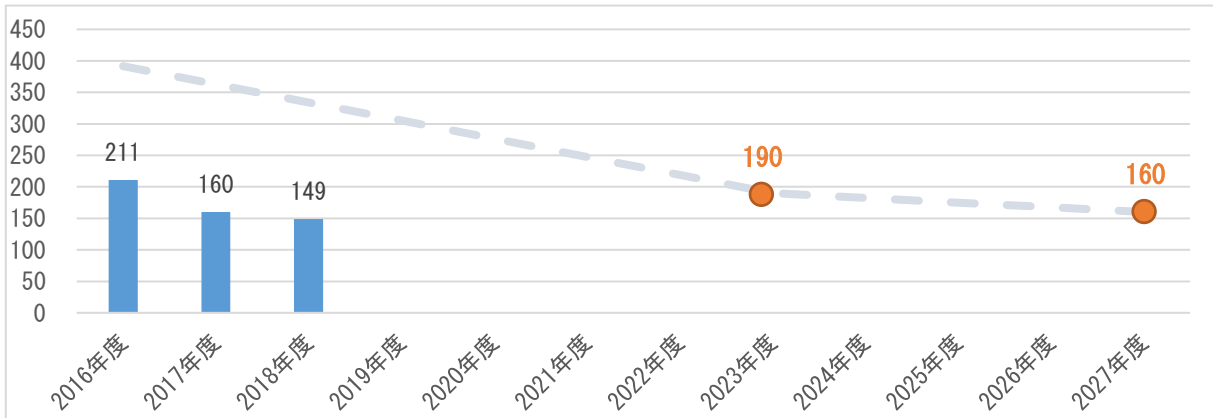
○動物愛護の精神が広まっていると思う人の割合（目標値：50%）



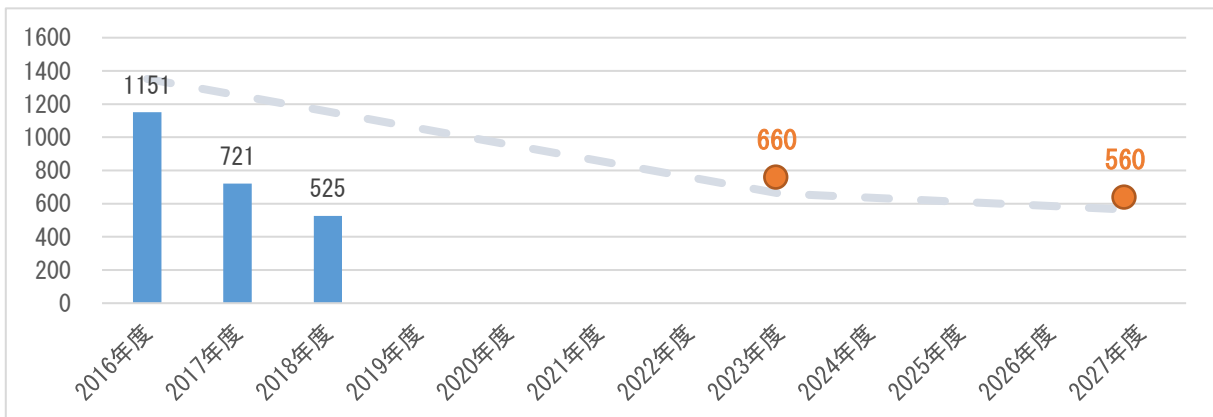
※2 年ごと（★の年度）にアンケートを実施する予定

(2) 動物の適正管理・福祉向上に関する数値目標

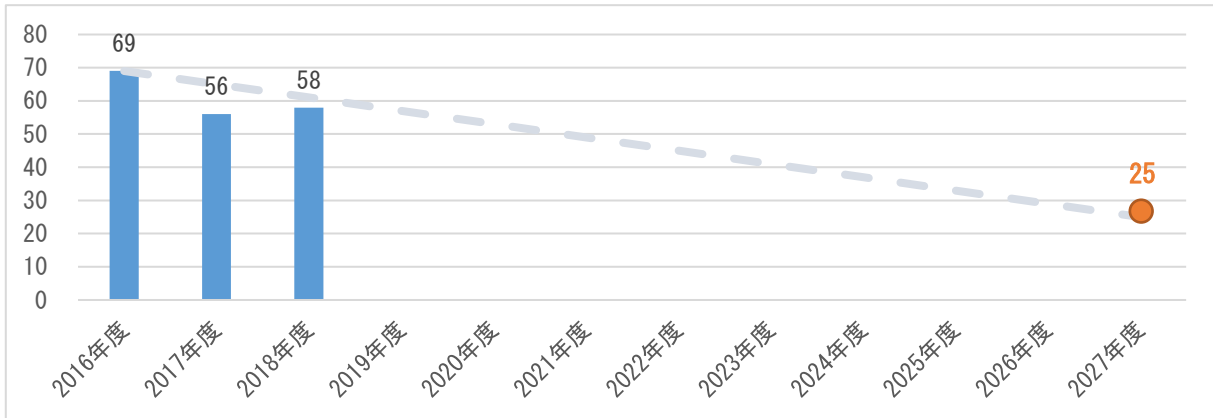
○犬の引取り数（目標値：190 匹（2023 年度）、160 匹（2027 年度））



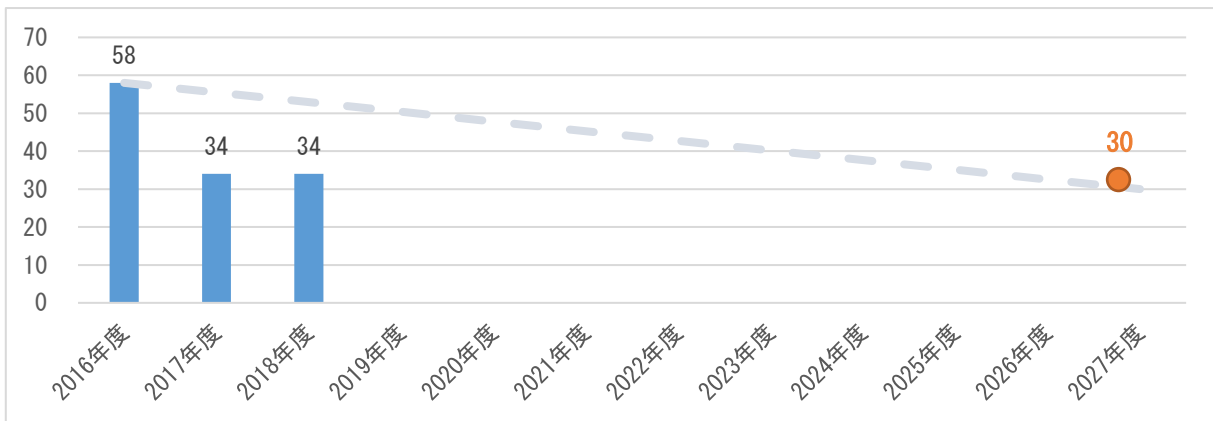
○猫の引取り数（目標値：660 匹（2023 年度）、560 匹（2027 年度））



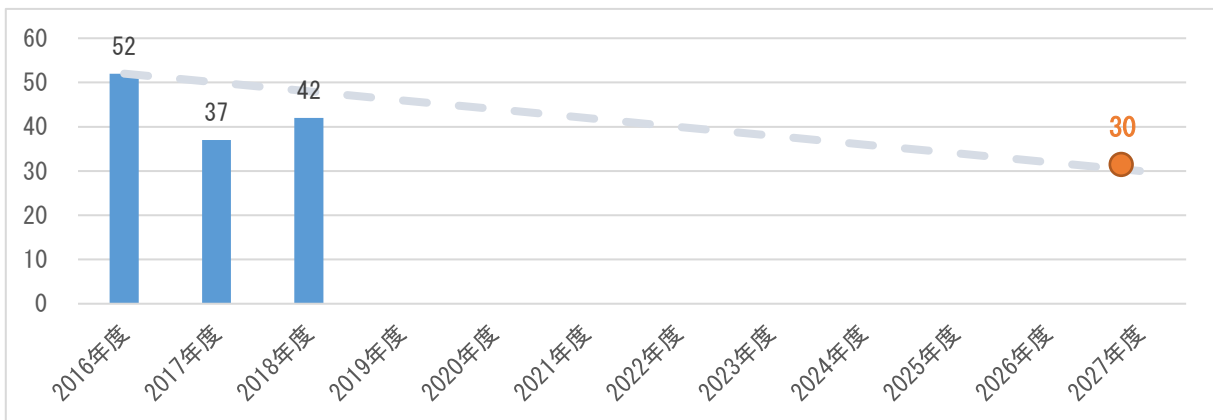
○犬による咬傷事故件数（目標値：25 件）



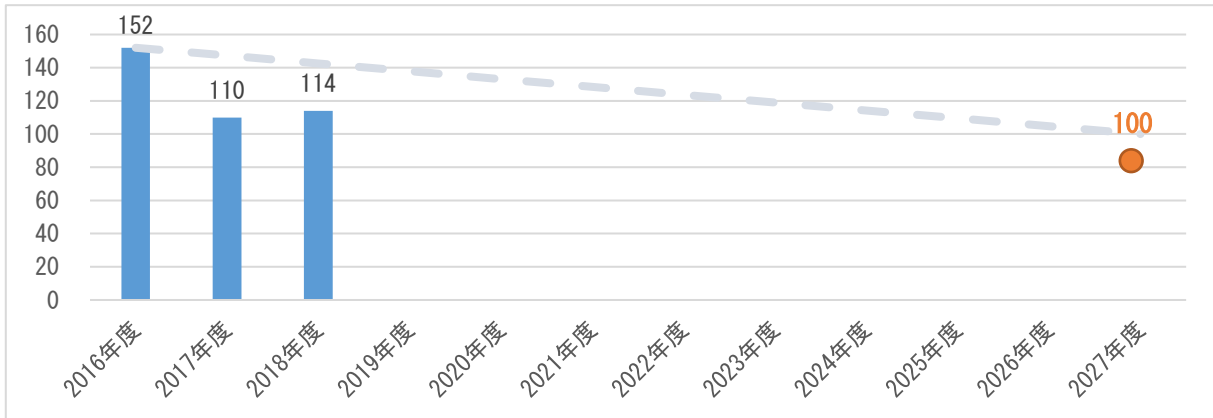
○犬に関する相談（不衛生）（目標値：30 件）



○犬に関する相談（放し飼い）（目標値：30 件）



○猫の苦情相談（不衛生、庭・畑荒らし）（目標値：100 件）



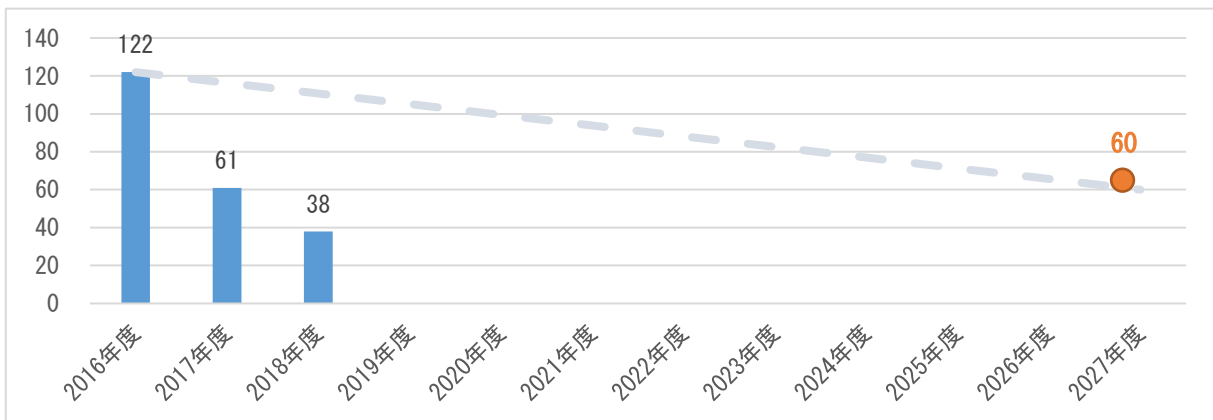
(3) 動物愛護管理に関わる推進体制の整備に関する数値目標

○犬の殺処分（目標値：0 匹）

平成 26 年（2014 年）1 月から 0 を継続中です。

※猫については、今年度は 2019 年 1 月 31 日時点で、負傷し、回復の見込みのない猫を安楽殺の観点から 1 匹殺処分としています。

○猫の収容中死亡数（目標値：60 匹）



2 基本施策に基づく具体的取組の 2017・2018 年度の実施状況

中長期的に推進する取組については、実施した内容のみを記載しています。
2018 年度の数値については、2019. 1. 31 時点での速報値となります。

(1) 動物愛護精神の普及啓発

1-1 市民全体を対象とした普及啓発

項 目	実施内容等
人とペットの暮らし広場	2017 年度：9 月 2 日（土）実施、6,996 人 2018 年度：9 月 9 日（日）（震災で中止）
小動物慰霊の日	2017 年度：9 月 22 日（金）実施 2018 年度：9 月 21 日（金）実施
動物愛護パネル展 その他の動物愛護イベント	2017 年度：6 回 2018 年度：7 回
遺棄虐待案件等への対応 方法周知	市・警察署連名でポスターを掲示（2017 年度） 北海道警察本部が開催する環境犯罪連絡対策会議 に出席

1-2 子どもの動物愛護教育

項 目	実施内容等
命の教室	2017 年度：2 回、770 人（中学校） 2018 年度：3 回、52 人（児童会館など）
どうぶつあいご教室	2017 年度：25 施設、1,147 人 2018 年度：22 施設、857 人

(2) 動物の適正管理・福祉向上

2-1 家庭動物の適正管理

項 目	実施内容等
愛犬といっしょの公園 散歩講座	2017 年度 3 回、56 人 (30 頭) (手稲稲積公園、川下公園、中島公園) 2018 年度 2 回、30 人 (21 頭) (モエレ沼公園、月寒公園、平岡公園 (中止))
動物に関する相談・事故の 対応や啓発指導	相談に応じた啓発指導の実施 (P2-3 各相談件数参照) パトロール及び広報の実施
狂犬病予防に関わる啓発 指導	公式ホームページ・ポスター等での啓発 啓発イベント (2017 年度 971 人、2018 年度 670 人)

(中長期的に推進する取組)

項 目	実施内容等
特定動物飼養者の定期的な 立入検査	定期的な立入検査の実施 (2017 年度 2 施設、2018 年度 5 施設) 震災時、特定動物関係施設に逸走等の状況調査

2-2 動物取扱業者における動物の適正管理

項 目	実施内容等
適正な販売方法・展示方法の 啓発	市民からの相談等に応じた立入検査の実施 (2017 年度 20 件、2018 年度 29 件) 法令に基づく動物取扱責任者研修会の実施 (対象者数：2017 年度 654 人、2018 年度 645 人)

(3) 動物愛護管理に関わる推進体制の整備

3-1 普及啓発や教育の体制

項 目	実施内容等
動物愛護推進員に対する 研修会	市民向けのセミナーへの参加の呼びかけ 定例会の実施

(中長期的に推進する取組)

項 目	実施内容等
獣医大学等の学生実習や職場 体験活動の推進	北海道大学獣医学研究院・獣医学部と連携協定の 締結 (2018. 8) 中高生等の実習の受け入れ (2017 年度なし、2018 年度 1 組)

3-2 収容動物の管理や譲渡の体制

項 目	実施内容等
譲渡事業に関する広報活動	啓発イベント等での周知 公式ツイッターの開設 (2018. 9)

(中長期的に推進する取組)

項 目	実施内容等
動物愛護推進員や ボランティアによる活動拡大	動物愛護ボランティア (啓発、教育、ケア) 制度 の設置 (2018. 12)
譲渡動物への不妊手術や マイクロチップ装着の推進	収容動物の不妊去勢手術件数 2017 年度：猫 オス 47 匹、メス 13 匹 2018 年度：猫 オス 30 匹、メス 18 匹

3-4 災害時における対応体制

項 目	実施内容等
災害時における動物取扱等の 周知	災害時動物救護ボランティア制度の設置 (登録者数 47 人、2017. 9) 犬の猫の防災手帳作成 (2 万部作成、2018. 5) 出前講座の実施 (2018 年度 1 回、17 人) 講師派遣 (2018 年度 1 件)

(中長期的に推進する取組)

項 目	実施内容等
災害時を想定した訓練	清田区防災訓練への参加 (2018. 8) 札幌市総合防災訓練への参加 (2018. 9)

3 動物管理センター（施設）のあり方について

(1) 整備基礎調査

ア 調査機関 平成 30 年 9 月 26 日～平成 31 年 3 月 29 日

イ 候補地

- ①八軒本所（西区八軒 9 条東 5 丁目）
- ②福移支所（北区篠路町福移）
- ③旧静療院跡地（豊平区平岸 5 条 15 丁目）
- ④白石区役所跡地（白石区本郷通 3 丁目）
- ⑤大学連携の観点からの候補地も検討

ウ 調査内容等

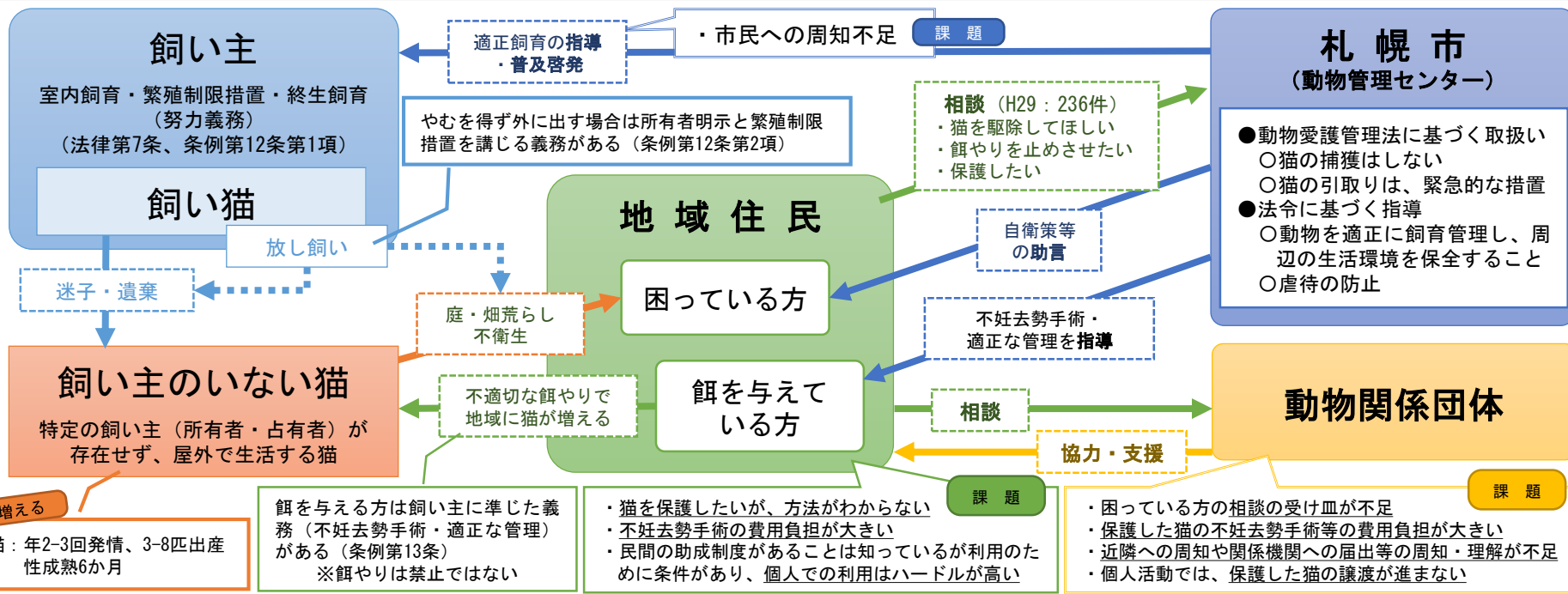
- (ア) 愛護センター設置に関する基本的な情報の収集・現状調査
 - ・他自治体の愛護センターの実情調査
 - ・札幌市動物愛護管理推進計画において求められる機能の確認
 - ・福移支所における動物収容状況を把握
- (イ) 動物愛護センターの各候補地の調査
 - ・建築法規の対応性
 - ・周辺環境
 - ・市民利用の利便性
 - ・機動性の確保
 - ・関係機関との連携、ボランティアの確保、地域の状況
 - ・災害安全性・災害対策
 - ・概算建設費・補助金等
- (ウ) 愛護センターの建築概要（イメージ）の提案
 - ・諸室面積の構成案の作成
 - ・施設内レイアウトの作成
 - ・施設外配置図の作成

(2) 今後の予定

整備基礎調査の結果を踏まえ、運営方法等を含め庁内で調整

飼い主のいない猫への対応について（案）

現状と課題



考え方の整理と必要な支援

